

発行日	2026年3月27日	問い合わせ先	コミュニケーションズ
ページ	1 / 2		北口 麻理
配信日	シーカ・ジャパン株式会社	電話番号	090-6130-5798
	東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー7 階	Eメール	Kitaguchi.mari@jp.sika.com
	http://jpn.sika.com/		

※スイス本社リリース参考訳

シーカ、MESH への戦略的出資により建設業界のデジタル化を推進

シーカは、スイスのテクノロジー企業 MESH に出資しました。MESH は、ETH(スイス連邦工科大学)の分社化企業であり、鉄筋工事におけるロボット支援型製造の国際的パイオニアです。ABB Robotics や清水建設などのパートナーと共に完了した 2.9 百万スイスフランの資金調達により、MESH は自社技術のグローバル展開が可能になります。

MESH への出資参加により、シーカはデジタル建設および製造技術のポートフォリオを拡大し、建設業界のバリューチェーン全体において効率、品質、持続可能性を高めるデジタルイノベーションを推進する戦略を一貫して推進していきます。

MESH は鉄筋工事におけるデジタル化の中核技術

MESH が開発した技術は、鉄筋かごの製造を自動化、従来の手作業による方法と比較して、より迅速で高精度に、大幅な効率化を実現します。ロボット支援製造により、デジタル設計データをロボットによる鉄筋加工へと直接変換します。スイスでは、この MESH の技術により 100 万本以上の鉄筋が加工され、またゴットアルド道路トンネル新設などの大規模で要求水準の高いプロジェクトでも採用されています。

MESH への出資によりシーカが強化する分野

- 鉄筋加工におけるデジタル製造プロセスの推進
- ロボット支援アプリケーションとシーカの材料技術の最適な組み合わせ
- インフラやプレキャスト分野向けの顧客中心のソリューション開発

シーカ 建設部門責任者 イヴォ・シェードラー:「建設業界のデジタル化は急速に進展しています。シーカは MESH とのパートナーシップを通じ、ロボットを活用した産業用量産における、世界でも最も革新的な技術の一つに投資しています。シーカの材料技術と組み合わせることで、建設分野における効率性、品質、そして持続可能性を飛躍的に向上させる新たなソリューションの創出を目指します。」

MESH AG CEO 兼共同創業者 アンマル・ミルジャン:「シーカをはじめとする国際的な業界リーダーとのパートナーシップは、MESH が地域のイノベーターからグローバルな技術プロバイダーへ成長するうえでの重要な転換点です。特にプレキャストコンクリート業界や、当社の技術がすでに発揮されているゴットアルド道路トンネルのような大規模インフラプロジェクトにおいて、シーカとの強い相乗効果を期待しています。デジタル製造と高度な材料ソリューションを組み合わせることで、新しい可能性を創出することがで

発行日	2026年3月27日	問い合わせ先	コミュニケーションズ
ページ	2 / 2		北口 麻理
配信日	シーカ・ジャパン株式会社	電話番号	090-6130-5798
	東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー7 階	Eメール	Kitaguchi.mari@jp.sika.com
	http://jpn.sika.com/		

きます。今回の資金調達の成功は、当社の成長を推進し、世界での新たなビジネス機会を開拓するための重要なマイルストーンです。」

※内容および解釈についてはオリジナルが優先されます。公式リリースは[シーカスイス本社サイト](#)をご覧ください。

シーカについて

シーカは、建設および工業分野において、接着、シーリング、制振、補強、保護のためのシステムおよび製品の開発と製造で世界をリードする特殊化学品メーカーです。世界 103 か国に子会社を有し、400 を超える工場で生産を行い、世界中の顧客に向けて革新的な技術を開発しています。また、シーカは建設および輸送分野の環境適合型への転換において重要な役割を果たしています。

2025 年には、33,700 名の従業員により、売上高 112 億スイスフランを達成しました。

MESH について

スイス・アールガウ州ビルに拠点を置く MESH AG は、デジタル設計データをロボット施工を、プログラミング不要のインターフェースにつなぐことにより、鉄筋施工を効率化します。これにより、迅速で柔軟な鉄筋かごの製造と、精度の高いインライン品質管理が実現します。MESH AG は、ETH チューリッヒ発の分社化企業で、2022 年に設立されました。www.mesh.ch